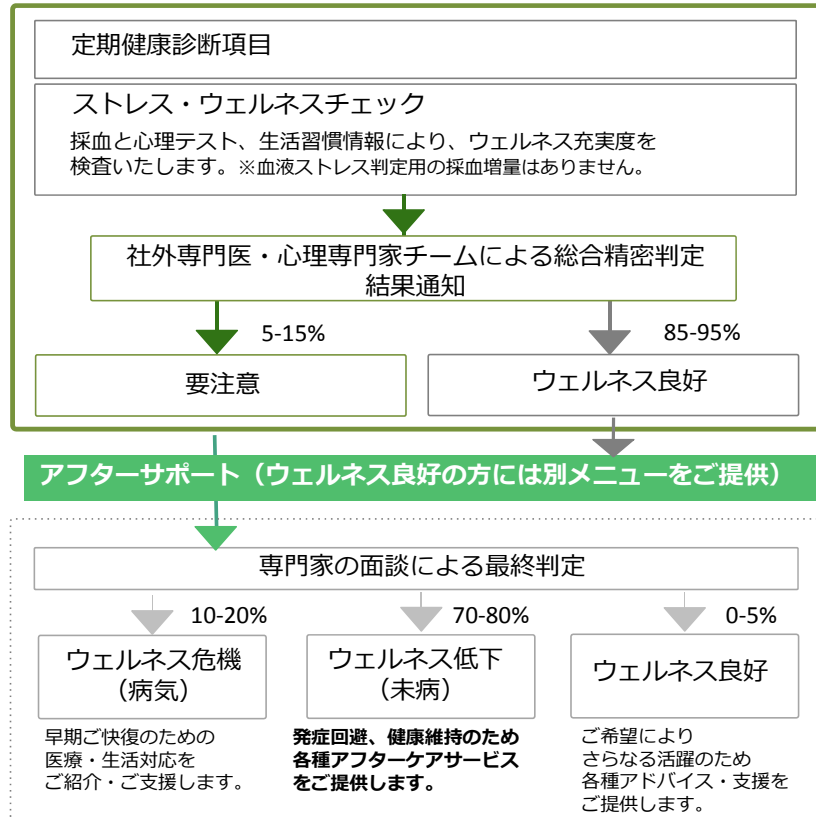




## ● サービスの流れ

健康診断などに加えて簡単・手軽にストレス・疲労や精神的充実度などをチェック。  
正確な判定に基づいて支援・改善策を提案、効果の評価と最適化までをご提供いたします。

### サービスご提供例（ストレスチェックまでをファーストステップとした場合）



**検査結果はご本人にのみ通知され、プライバシーは守られます。**

## ● お問い合わせ、お申し込みはこちら

### ■ お電話

**06-6386-1651**（平日 9:00～17:00）

### ■ メール

**kenko@kenko-club.co.jp**

※弊社担当にもどうぞお気軽にご連絡くださいませ。

平成25年度  
経済産業省地域ヘルスケア構築推進事業採択

活力ある、安心の毎日を実現する

## トータルウェルネスサポート

健康診断や人間ドックに簡単に追加できる、健康支援のトータルサービス

どれだけ優れた経営戦略も、その実現のためには社員様おひとりひとりの活躍が欠かせません。  
高いモチベーションのもとご活躍をつづけるためには、心身の健康と充実感が大切です。  
トータルウェルネスサポートは、単にからだの健康だけでなく、こころの健康と毎日の充実を支え  
社員の方々の社会的活躍までをトータルにサポートする、トータルヘルスプロモーションサービスです。



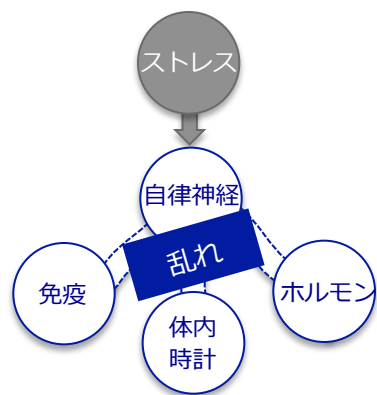
## 正確なストレスチェックを可能にした最先端の検査技術

### 血液中のサイトカイン・ケモカイン濃度から ストレスをチェック (マスコミ報道、学会シンポジウム等多数)

ストレスを受けると、自律神経系をはじめ  
ホルモン・免疫・体内時計の共同関係 (バランス) が乱れます。

バランスが乱れると、身体の機能を保つために  
サイトカインやケモカインの血液中の量が調節され、乱れの原因や  
強さにそった、特有のパターンが生じます (バイオマーカー)。

この特性をもとに、バイオマーカー濃度の正常時との差や  
うつ患者特有のパターンからリスクや病気の有無を判定します。  
(この技術を用いると唾液や尿などからもストレスチェック可能ですが  
唾液や尿は体調や個人差の影響が大きく、血液が優れています。)



## 日本で、そして世界で認められたストレス・バイオメンタル検査技術 生体負荷の測定方法およびその利用

国際出願番号 PCT/JP2007/052887 (日本国特許5069213号)

本サービスは、ストレス・疲労、メンタルウェルネス測定の先進性、実用可能性 (産業上の利用性) が  
評価された先進の技術のうえに成り立っています (日本、中国、EUをはじめ10カ国以上で特許取得中)。

### 特許技術のご紹介

弊社の保有するメンタルウェルネス検査技術 (「生体負荷の測定方法」日本国特許5069213号) を実施  
することにより、対面談による従来のストレス評価ではなく、ストレス・疲労リスクに対する正確な  
判定が可能となり、検査に基づく適切なサポート、ウェルネス危機 (病気) の回避が実現しました。

- ① 隠されたストレス危機を発見 (支援によってうつ病などの発症回避を実現)
- ② ウェルネスの低下度、回復度を測定
- ③ ウェルネス低下の原因や重症度を測定

この技術により、把握はもちろん効果的な支援を施行できなかったストレスや疲労、メンタルウェルネスの  
問題に対し、だれにでも「見える」ようにすることに成功。効果的な対処が可能になりました

## 健康は弊社の願い：見えない危険を「見える」ように。ウェルネスライフを実現

「健康と安心の暮らしをみなさまに」 (弊社設立時パンフレットより)

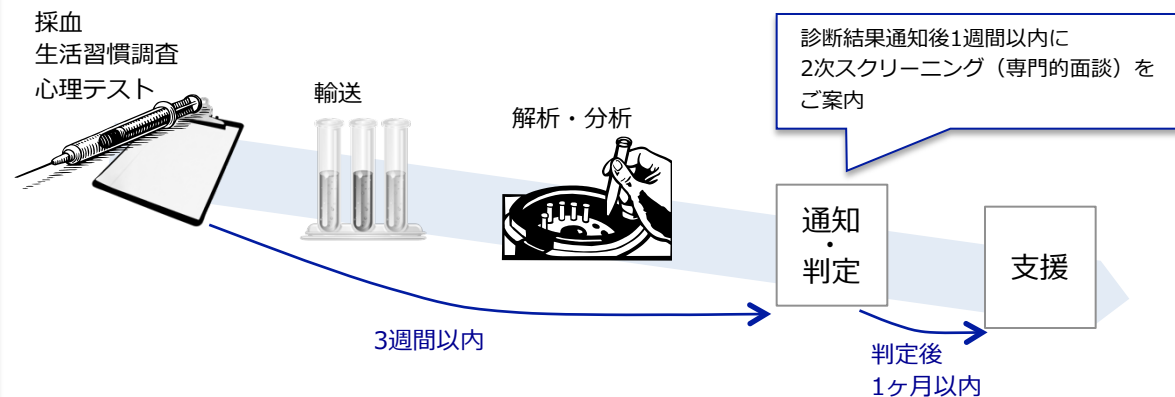
予防医学の実現を目標に掲げて、昭和48年に弊社は設立されました。その後、医学の進歩によって  
からだの予防医学は長足の進歩を遂げましたが、一方でメンタル問題による休業や生産性低下が大きな問題  
となってきました。この問題の解決に貢献するべく、弊社では、大学医学部等で研究支援を続けてまいり  
ましたが、その結果、**ストレスの時だけに見られる血液検査結果が発見**され、世界的医学雑誌 Immunity誌  
に掲載されました (2005年)。弊社は「こころの予防医学」のための技術の確立をつづけ、以後の成果は  
国際特許化したものだけでも「非炎症性ストレス応答の指標剤 (2006年)」「生体負荷の測定方法 (2007  
年)」「抗ストレス剤 (2007年)」等があり、成果は内外の主要精神医学会でシンポジウムとなりました。

「**そのかたにどんなストレスがどの程度くわわっているかを明らかにする**」 「生体負荷の測定方法」は  
2003年からの、延べ一万人に近い検討に基づいており、血液・だ液などによってストレスやメンタル疾患  
の危険度を数値化します。ストレスの高い、**ウェルネス低下した方を発見し支援によって病気回避** (例：う  
つ病) できることも明らかになっています (2013年 第33回精神科診断学会シンポジウム)。現在までに、  
京都大学、大阪大学、名古屋大学、徳島大学、大阪市立大学、防衛医科大学、先端医療振興財団などに弊社  
から技術提供し医学薬学研究に活用いただいているほか、企業様の商品開発にも活用されています。

トータルウェルネスサポートサービスを実現したストレスチェック技術のご紹介

## 健康診断の一項目として簡便に実施。支援の効果も定量的に評価 (オプション)

通常の検診ラインで実施可能。検査に手間は増えません。



## 判定と支援を支える正確な評価技術：ウェルネスサポートでの活用例



ストレス・ウェルネス評価技術の確立により、サポートの要否、サポート策  
までも効果判定可能になり、真に役に立つサポートを提供可能になりました。